平成 23 年 5 月 13 日

各　位

会　社　名　ルーデン・ホールディングス株式会社
代表者名　代表取締役社長　西岡 孝
（ＪＡＳＤＡＱ・コード1400）
問合せ先　取締役管理部門管掌兼管理本部長兼
経営企画室長　佐々木 悟
電　話　03-5332-5374

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年２月９日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 23 年 12 月期 連結業績予想の修正等

（１） 第２四半期（累計）（平成 23 年１月１日～平成 23 年６月 30 日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想（A）	2,206	122	136	126	円　銭 1,504．24
今回修正（B）	1,211	15	28	18	227．74
増減額（B－A）	△995	△107	△108	△108	－
増 減 率	△45.1%	△87.7%	△79.4%	△85.7%	－
（ご参考）前期第２四半期実績（平成22年12月期第２四半期）	1,061	△20	△17	△33	△562．13

（２） 通期（平成 23 年１月１日～平成 23 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	3,802	119	141	119	円　銭 1,420．67
今回修正（B）	3,609	104	124	104	1,233．74
増減額（B－A）	△193	△15	△17	△15	－
増 減 率	△5.1%	△12.6%	△12.1%	△12.6%	－
（ご参考）前期実績（平成22年12月期）	2,135	△49	△37	△62	△1,023．57

（3） 修正理由

当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、前年比の供給戸数および契約率の好転がみられるなど景気の持ち直しがみられたものの、依然として厳しい雇用情勢や東日本大震災の影響による消費マインドの低下懸念があり、厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループといたしましてはトータルハウスケアサービス事業において営業販路の更なる拡大やアフターメンテナンスの安定収入化等をはかってまいりましたが、一定の効果はあったものの、東日本大震災の影響による消費マインドの低下等がみられ、今後においては原材料不足等による新築マンション竣工時期の遅れによる営業機会の延期や喪失が想定されます。また、不動産事業においても、同様に竣工時期の遅れによる、売上のズレおよびそれに伴う販管費の増加による利益の減少が見込まれる等により上記のように修正することといたしました。

（注）上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上